



聖化の川の流れて行く所

北海道聖化大会委員
イムマヌエル綜合伝道団札幌キリスト教会牧師

渡辺 昇

「この川が流れて行く所はどこでも、そこに群がるあらゆる生物は生き、非常に多くの魚がいるようになる」(エゼキエル四七・九)

御業を神は成し遂げてくださると、先生はプリントを用意されて歴史的見地から詳しく語られました。

開催を目指していますが、祈りと聖化の研鑽の時もっている聖化大会委員会では、発会から今まで慣れ親しんできた「札幌聖化大会」の名称を「北海道聖化大会」に変更することに決めました。

第一九回札幌聖化大会は五月二二―二三日、講師にウエスレアン・ホー

ですが、第一回は「聖めの信仰の確立」(詩篇五一・一一―一九)、第二回は「聖めの信仰の継承」(ヨハネ七・

「北海道聖化大会」という新名称のもとに、会場こそ当面は札幌で開催されていますが、あくまでも「北海道聖化大会」は北海道にある「聖化」を標榜する教会、教団教区の「聖化大会」であることを自覚して、「聖化大会」の開催に際しては北海道の全道的な祈りと協力が必要となります。

リネス教団玉川中央教会牧師・本間義信先生を予定しておりましたが、ご健康のご都合で急遽、日本聖化交友会会長でもあられる黒木安信先生を四年ぶりにお迎えすることになりました。

わがかり易く聖めの恵みが諄々と語られました。二夜の聖会の説教の前に歌われる青年讚美グループに加わっている青年たちも聖会に参加され、今回の聖化大会では各聖会平均一三〇名の出席者があり、讚美と臨在の溢れた聖会となりました。

神の深い摂理のもとに誕生した「北海道聖化大会」が北海道での聖化の宣証に用いられますよう祈ります。

黒木先生は、セミナーにおいて、「成熟を目指して」と題して、J・ウエスレーの生涯を通してなされた御業が、この時代の私たちにも同じ

となり、明年は二〇回目を迎えます。これを記念して、五月の聖化大会

☆きよめのあかし☆

主の聖い愛にささえられて

日本宣教会狭山キリスト教会牧師

小坂嘉嗣

鮮やかな劇的な体験があるわけではない私のような者が、きよめの証詞をすることにいささかの戸惑いを感じましたが、何か深い主の意味があるかと思いつつ、筆をとらせて頂きました。

私は、クリスチャンホームに生まれました。小学校4年生ごろに、ルカ16章「ラザロと金持ち」の話聞いて、いつでも天国に行ける人になりたいと願い、知れる自分の罪を悔い改めて、主イエス様を救い主として心に迎えて救われました。その時に受けた平安と喜びは忘れることのできないものです。やがて中学生にあがる時分から、個人的に主を求める心が強くなってきました。だれに教えられるのでもなく、自分から聖書を読み、祈りをささげてから学校に行くようになっていました。聖会と

いう聖会は、欠かさず出席していました。そうしなければならぬという気持ちではなく、主の臨在の前に出るのが、何よりの喜びに感じたからです。

ところが、やがて一つの大きな悩みにおつかりました。聖会ごとに恵みの座に出て、涙ながらに自分の罪を悔い改め、全く自分を主に捧げ、明け渡し、罪の根さえも聖めてくださる主を信じて立ち上がるのですが、時の経過とともに感激も実感も信仰も薄れていき、結局は、もとのもくあみになり、ついには罪にまみれて生きている有様だったからでした。聖会ごとくにそうしたことを繰り返しているうちに、多感な青年期にいた私は、だんだんときよめそのものがどういうことなのかよく分からなくなってきました。

大学卒業後は、会社員

としての人生を始めました。辛いこともありましたが、楽しいこともあり、それなりに充実した日々でした。ところが主は、ずっと心の奥底に献身への声を掛け続けて下さり、5年後にととうとう、その声に抵抗することができなくなり、主にすべてを捧げて献身をしました。

神学校に入学するにあつたの院長先生との面接が私にとりまして、きよめの信仰に関しての二つの転機となりました。当時の院長、高田公義先生が、きよめの経験に関して尋ねられました。そのとき、きよめに関して明確な経験があるわけではなく、きよめられているのか否かよく分からない旨を話しました。そのとき、高田先生は「重要なのは過去の経験ではなく、今、あなたがどのような信仰に立っているか

です。」と言ってお下さいました。この言葉は、私に大きな光となりました。私は、「条件を果たしたのですから、きよめて頂いたと信じます。」とお答えしていました。そのとき「主は私にかかわるすべてのことを、成し遂げてくださいます。」(詩篇一三八・八)のお言葉をいただきました。

神学校入学後は、きよめに関してよき学びのときが与えられました。今は、毎日自分を主に捧げ、明け渡し、瞬間、瞬間を主に従って生きることの大切さと幸福を教えられています。乏しいながら伝道者、牧会者、教会建設者として、歩ませて頂いています。が、他者との比較でなく、自己実現のためでもなく、ただ主を愛し、主の栄光のためにささげて頂けるのは、大きな喜びです。

☆プレイズ&トーク☆

関東JHA青年集会の今

シオン・キリスト教団蒲田教会
クロスロード・チャペル副牧師

荻野泰弘

去る5月27日(日)午後、インマヌエル中目黒教会を会場としてJHA春の青年大会を開催しました。青年大会は「プレイズ&トーク」と題されています。メッセージをきくことはもちろん、心いっぱい讚美をささげることや、青年同士が互いに語り合う中でより深く聖潔の恵みを求め、励まし合うことができるようにと願っています。

今年の春の集会のテーマは「ガククシ…、でもダイジョウブ」。

若い時は様々な挫折を経験します。信仰者も挫折を経験しながら、そこにある恵みに気づきながら成長します。しかし、昨今では挫折を良い糧とするよりも、百点満点ばかり求めて挫折すること

を恐れたり、挫折に耐えられず押し潰されてしま

うような傾向が見受けられます。

そこで、挫折の中で主を見出し、それを糧として聖潔の恵みに生きる方々の証詞とメッセージを青年たちに伝えたいと願い、企画しました。

講師に中村和司師(ウエスレアン・ホーリネス教団淀橋教会)をお迎えし、証詞者には青年委員から水口功師と、高橋香世師が立ちました。

また、現代の青年の集会には讚美を欠かすことはできません。讚美リードはジーザス・ファミリー・みどり野キリスト教会でした。迫力のあるフルバンドと魂のこもった讚美に導かれ、会場が一体となつての讚美に心は奮い立たされました。証詞、メッセージは、本当に真実なもので、その失敗談は、時に笑いを

誘い、時に共感を抱きました。

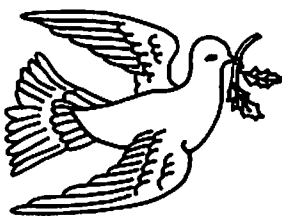
特にメッセージが締め括られるとき、多くの会衆の目には涙が浮かんでいました。挫折の痛み、しかしそこにあつた主の愛とあわれみに今生かさ

れているという中村先生のメッセージが、私たち聞く者の心に深く主の語りかけを届け、その心を揺さぶつたのです。みことばに応答する時には、それぞれが主の恵みになれはみつつ、応答し、励ましを受けました。

青年が元気がないと言われて久しくなります。今も、その状況が劇的に変化しているとは言えません。

しかし、青年たちもこの世相の中で悩み、苦しんでいます。その中で主を求め、主と共に生きる

道を選びたいと望んでいる者は少なくありません。若者がこの時代にあつて主の恵みに生きることができるよう、これから励まし場の提供できたらと願っています。背後での御援捧に感謝しつつ。



2007年、聖化大会主講師紹介

スティーブ・シーモンズ博士 (アズベリー神学大学、大学院教授)

学歴：アズベリー大学卒 (B. A.)、アズベリー神学大学大学院 (M. Div.)、プリンストン神学校 (Th. M.)、ドルー大学より哲学博士号 (Ph. D.)

学生たちに一番の人気がある教授とのこと。宣教師の子息として、インドで幼少期を過ごされた。直接献身への召しを受けて、神学教育を終了されてからは、合同メソジスト教会の牧師として11年間奉仕。1983年より、アズベリー神学校の教授として、教鞭を取られ、現在に至る。シーモンズ博士は古典的な神学的研究への深い洞察を実践的に生かしておられ、その授業は常に教会者の心で語られるので、学問的かつ霊的である。因みに「子供服を着たクリスチャン」、「恵みを知らないクリスチャン」著者のデイビッド・A・シーモンズ博士はご父君にあたる。

●第12回 山形聖化大会

- 日時 2007年9月24日(月、祝日)
- 会場 チャーチ・オブ・ゴッド
大江町教会
- 講師 工藤公敏師
(基督兄弟団
目黒教会)

●第19回 宮城聖化大会

- 日時 2007年9月24日(月、祝日)
- 会場 日本基督教団
仙台青葉荘教会
- 講師 中島秀一師
(日本イエス・キリスト教団
荻窪栄光教会)

●第22回 関東聖化大会

- 2007年
- 日時 10月14日(日)-16日(火)
- 会場 ウェスレアン・ホーネス教団
淀橋教会
- 講師 スティーブ・シーモンズ博士
- テーマ 「全人的いやしとしての聖化」

●第20回 東海聖化大会

- 日時 2007年10月18日(木)
- 会場 イマヌエル名古屋教会
福音センター
- 講師 スティーブ・
シーモンズ博士

●第53回 ジョン・ウェスレー に学ぶ会

- 日時 2007年10月19日(金)
- 会場 日本ナザレン教団
大阪桃谷教会
- 講師 スティーブ・
シーモンズ博士

●第8回 岡山聖化大会

- 日時 2007年10月21日(日)
- 会場 日本イエス・キリスト教団
岡南教会
- 講師 スティーブ・
シーモンズ博士

●第18回 九州聖化大会

- 日時 2007年10月23日(火)
- 会場 基督兄弟団
福岡教会
- 講師 スティーブ・
シーモンズ博士

事務局・総務だより

▶ 聖化第42号をお届けします。全国各地の聖化大会の祝福をお祈りいたします。

▶ さる6月10日、岡山聖化交友会の四国支部が誕生しました。事務局はイマヌエル綜合伝道団徳島教会です。新たな地域への聖化宣証の拡大を心から嬉しく思います。